

6
June

2009

弘前大学

学園だより

題字：遠藤正彦 学長

VOL. 163



「キッチン：サイアノタイプ」制作 教育学部学生 新岡 恵

I	巻頭言	2
	弘前大学長 遠藤正彦	
II	特集 各学部長挨拶	4
	人文学部長	4
	教育学部長	5
	医学部長	6
	医学部保健学科長	7
	理工学部	8
	農学生命科学部	9
	特集 「新入生・在校生の声」	
	人文学部	10
	教育学部	12
	医学部医学科	14
	医学部保健学科	16
	理工学部	18
	農学生命科学部	19
III	研究室紹介	22
	理工学研究科 地球環境学専攻	
IV	新任教員自己紹介	26
V	けいじばんコーナー	28
VI	編集後記	30

特集

60周年の年にようこそ弘大へ

新入生に向けてのメッセージ

新入生の皆さん、入学おめでとう。

入学式告示の中で

「皆さんは、単なる一地方大学ではない中規模総合大学であるこの弘前大学で学ぶことに、強い自信と誇りを持っていただきたい」と私は、本年4月7日、皆さんのための平成21年度弘前大学入学式の告辞の中で、皆さんに向かって強調しました。

皆さんの保護者への誓い

少子化による入学志願者減により、全国の国公立大学は、厳しい評価と競争という状況の中に置かれています。この評価とは、大学の使命である教育・研究・社会貢献の成果に対する、社会の評価であります。特にこの中で、教育の評価とは、如何に質の高い卒業生を社会にどれだけ多く受け入れてもらえるかということです。ですから、この弘前大学入学式に出席された皆さんの保護者の方々にも、「本学が社会に対して本学学生の質を保証すると明言している通り、本学は学生に最善の努力を払って教育をしまっていることを誓います」と学長告辞の中で述べました。

就職率が学生の質

では、保証する質とは何でしょうか。それは、皆さんが己の選んだ専門についての広い知識と深い思考力、社会に適応できる教養、豊かな人間性、そして強靱な身体を持つことです。

学生の質の高さは、皆さん方の卒業時の就職状況に表れています。平成19年度弘前大学卒業生の就職率は、統計のない医学部を除く人文学部、教育学部、理工学部、そして農学生命科学部のすべての学部が、全国の学部ごとのベスト10に入りました。平成20年度の集計結果はまだ公表されていませんが、本学は、世界的不況下にあっても、昨年と同程度の就職率が確保で

きているので、全国的にも高いランクになると予想されています。

加えて言うならば、皆さんの先輩の中には、本学には特別の専攻やコースがないので独学で勉強し、国家公務員試験Ⅰ種の合格者、司法試験合格者、そして公認会計士合格者等が陸続しています。

この就職率の高さは、社会が、言い換えれば求人者たる企業が、本学の学生を良しとして受け入れていることにあります。皆さん、ここが大事なのです。

本学の学生のレベル

本学の卒業生の質のレベルが上がってきたことは、就職率だけのことではありません。皆さんの学部・大学院の先輩達の卒業論文、修士論文や博士論文が、国際的ジャーナルに掲載され、また学会賞を受賞するということが、多くなってきたことにも表れています。即ち、学生の教育・研究のレベルも、著しく向上していることを意味しています。

また、皆さんの先輩達の課外活動の活躍も、高く評価されているのは承知していることでしょう。本学の運動部の全国大会・地方大会での優賞・入賞等、また文化部・ボランティア活動の成果等が、中央・地方の新聞紙で紹介される機会が多くなり、地域の人々は本学学生の活躍に拍手を送ってくれています。

向上を促したもの

この学生の質に関わる、本学の教育・研究のレベルの向上を、促していたものは何だったのでしょうか。それは第1に、言うまでもなく皆さんの先輩達の弘前大学学生としての意識と自覚であり、また先輩達の、己の将来への目標の早い設定と、それに向かっての不断的努力の結果だったのです。先輩達には、勉強と課外活動と友人達との語らいの日常が、そこにあったので



弘前大学長 遠藤正彦

す。それが教職員に影響を与えていたのです。

第2は、諸君への気配りを持った教職員の姿もありました。地方の小規模大学を今日の姿まで大きくしてきたのは、言うまでもなく教職員の働きでした。本学の教職員の誰にもが、弘前大学を“おらが大学”と思う意識があったからこそ、学生に対する綿密な指導が生まれ、大学発展への強力な駆動力が生まれたのです。

本学の基盤

こうした今までの弘前大学の動きをみて下さい。60年前の昭和24年(1959年)、文理学部・教育学部・医学部の3学部から出発した弘前大学は、今では、学問の幅広い領域をカバーする人文学部、教育学部、保健学科を含む医学部、理工学部と農学生命科学部の5学部から成り、すべての学部に大学院修士課程と博士課程の直結した完成度の高い中規模総合大学となりました。

そして、他には少ない特別な施設として、各学部・研究科の教育研究の柱となっている20にも及ぶ特別プロジェクト教育研究センター、様々な文化財を保有する附属図書館、国立大学法人には10大学にしかない出版会、自然エネルギーを研究する全国唯一の

北日本新エネルギー研究センター、世界自然遺産白神入口近くにある我国最大面積の植物園・白神自然観察園、我国唯一の緊急被ばく医療を担う高度救命救急センター等があります。ですから、本学には皆さんの知的活動を支援する様々な仕組みと設備が備わっているのです。

これが、本学が持つ、質の高い学生を教育する他にはない基盤です。冒頭で述べたように、「皆さんは、弘前大学で学ぶことに、強い自信と誇りを持っていただきたい」と述べた拠り所はここにあります。

創立60周年と皆さんの責務

幸いにも、本年入学の皆さんは、弘前大学創立60周年という記念すべき年の入学者です。今年一年は、この創立60周年記念式典を中心に、60周年記念にまつわる様々な行事が行われます。それは“学生参加”という形で進められます。

前にも述べたように、一地方の小規模大学から、中規模総合大学へと発展してきた本学の一員として、先人達の後を受け継いで活躍することは、皆さん自身が弘前大学の一員として光を放つことであり、そのことが他から弘前

大学の学生は輝いている、または質が高いとの評価を得ることになるのです。皆さんが光り輝くことは、己の将来のためであるばかりでなく、本学を発展させてきた先輩達への応であり、また皆さんの後に続いてくる後輩達への責務であります。

今、皆さんを迎えた整備の進んだ弘前大学のキャンパスは、皆さんが学ぶのにふさわしい環境です。皆さんの発展を祈念しています。



人文学部長
石堂 哲也

さあ、始めよう — 昨年に引き続き —

新入生諸君、弘前大学へようこそ。心より歓迎いたします。

皆さんの学生生活が充実したものになることを祈り、なにかのヒントとなればと考えて、いくつかのエピソードを紹介します。昨年の『学園だより』の新入生歓迎特集記事に、若い時でなければできない挑戦をした人たちのことを紹介しました。学生時代に『万葉集』をすべて暗記した国語学者、イギリスのある作家の全集(原文)に入学直後から挑戦し二年で読破した人、岩波新書を全部読んだ友人、在学期間をフルに使って8年かけて卒業し、その半分を留学して外国で過ごした人文学部の卒業生(女性)などです。(08年6月『学園だより』VOL.159)

今年も思いつくままに書いてみます。

昭和16年、福田定一という青年が大阪から弘前にやって来て官立弘前高等学校の入学試験を受け不合格となりました。後の司馬遼太郎です。数学が苦手、出題された問題が解けなかったと言うのではなく、問題の意味が分からなかった、というのですから豪傑です。その彼は戦後、京都で新聞記者になるのですが、その頃、百科事典を毎日1頁ずつ破いては持ち歩き全巻を読んでしまったという話が伝わっています。

戦争を生き延び、抑圧されていた知識欲が弾けるような精神状態であったことを伺わせる逸話です。

次に紹介するのは私が前に勤務した大学で同僚になった友人の話です。

皆さんは毎日どういう辞書を使って勉強しているでしょうか？私たちの世代がお世話になったのはドイツ語であれば木村・相良の『独和辞典』(博友社)、英語の辞書では研究社の『大英和』(改訂版、1963年)でした。しかし学年が進んで古い時代の英語を読むとなると、それではいけない、『オックスフォード・イングリッシュ・ディクショナリー』(O.E.D.)というものがある、それを引くものだと言いました。このO.E.D.なるものは広げると机の面積の大半を占領し、持ち上げようとすると手首を捻挫するくらい分厚さで、全12巻。勿論、図書館所蔵のものを利用しました。

就職した最初の給料ではO.E.D.は手が届きませんから簡約版『ショーター・オックスフォード・イングリッシュ・ディクショナリー』の二巻本を購入しました。それが嬉しくて、一緒に赴任した友人に、注文していたS.O.Dが届いたと話しました。ところが、彼が言うには、自分は最初から英語学をやると心に決めていたので、O.E.D.12巻を大学に入学してすぐに購入していたというのです。

あのころで1セット30万円以上であったと記憶しますから、今の物価で換算すれば100万くらいでしょう。なにかに賭ける人の心構えを思い知らされる経験でした。

彼は、英語は勿論ですがラテン語がよくできました。尊敬する友人の一人です。

お金の話になりました。そこで思い出すある女子学生がいます。

皆さんは大学の年間予定を見て夏休みが長いのに驚いたことでしょうか。余程じっくり考えて予定をたてて有意義な使い方をしてください。

さて この学生は1年時の夏休みを挟んで半年ほど、ひたすらアルバイトをしていました。結局100万円ほど貯めたようです。このままでは勉強に

さしさわるであろうと見ていて心配になってきたころ、彼女はピタリとアルバイトをやめました。そして今度は猛然と勉強を始めました。後で聞いて驚いたのですが、アルバイトで貯めたお金は就職活動の「軍資金」だったのだそうです。

親に面倒をかけず、自分で用意した交通費、宿泊費を使って、納得のいく会社訪問、受験をし、希望していた新聞社に入社しました。今は記者として元気に飛び回っています。

最後にこの3月に人文学部を卒業した二人の男子学生の話を紹介します。彼等は学部の4年生で公認会計士の試験に合格して周囲の人を驚かせました。二人は入学して間もなく、将来のことを話し合っているうちに、資格試験に挑戦してみようではないかと誓いをたてました。さまざまな資格試験があるなかでも、公認会計士の試験は普通、学部を卒業した後、受験のための専門学校もしくは会計学関連の大学院で特訓を受けて2~3年で受かるかどうか、という難関です。これに対応するカリキュラムは学部レベルにはありません。彼等は通信教育のプログラムによって勉強しました。文字どおり寸暇を惜しんで勉強しました。呑み会は出ない、部活、サークルは断念する。一人では挫折していた、二人で励ましあったからなんとかできた、と書いていました。

卒業祝賀会で人文学部同窓会会長賞を受けた彼等の一人は「公認会計士は簡単です」と言っていたのけました。

学生時代にやりたかったであろうことの多くを断念して、なにかに賭けた青春の結果を目の当たりにして「なかなかやるじゃないか」と拍手をおくりました。

この4年間をどう過ごすか、計画を経てみてください。迷うところ、分からないことがあったら遠慮なく教員研究室を訪問してみてください。

今年の教育学部

教育学部



教育学部長
昆 正博

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。ここで、教育学部の現状と皆さんが心にとめておいてほしいことをいくつか述べてみます。

最初に、「教育学部」と「教育学研究科」の概要を復習してみましょう。ここでは、専門的な知識・技能を習得して、社会や学校等さまざまな場で、学習者を支援することのできる専門家の養成を目指しています。「教育学部」では、①児童生徒の学習と健康を支援する学校教員の養成と②児童生徒の学校外での学習及び成人の学習・文化・スポーツ活動を支援する教育専門職員の養成を行っています。

カリキュラムには、学生自身の人間形成のための科目、「教育プロフェッショナル」として身につけるべき知識・技能を習得するための科目、人間をより理解するための科目と、これらを生きた知識・技能とするための1年次から4年次までの多様な実習が配置されています。

さらなる教育の高度専門職を目指すのが「教育学研究科(修士課程)」です。「学校教育専攻」、「教科教育専攻」および「養護教育専攻」があります。

これらの教育・研究を、附属学校園と附属センターが支えています。皆さんは、このような環境の中で、自分の専門を学ぶとともに、他の専門の興味ある科目も学ぶことができます。また、努力次第では複数の免許取得も可能です。

次に教育学部の今年度の主な話題です。

① 教員採用は大都市圏ではだいぶよくなっていますが、東北、北海道等の地方では年々厳しくなっています。

今年の埼玉県教員採用試験の第1次試験の一部が弘前大学を会場として行われることになりました。大都市圏の教員採用では、弘前大学に大きな期待を寄せています。教育学部は、就職支援委員会を中心に学生諸君の就職活動をバックアップしています。努力次第では、教員採用試験現役合格も望めます。希望を持って1年次から各種の情報収集に努めるとともに計画的に勉強してください。

② 教育学部の校舎改修が始まります。工事は3期に分けて行われますが、最初に講義室を中心とした改修が行われます。一時期不便になるかもしれませんが、改修後は快適な教室で学習できることとなりますので我慢してください。

③ 地域の教育力向上を目指した「ラボバスプロジェクト」が理工学部、県教育委員会との連携の下に本格的に動き出します。昨年度末にバスが納入され、現在、弘前大学をイメージしたバスの塗装等の最終的な仕上げにかかっているところです。全国的な取材も多く、大変な期待を背負っての出発となります。

④ 教員養成学研究開発センターを中心に、教員免許取得のために新しく導入される科目「教職実践演習」の開発と実施計画の作成が進んでいます。これは、4年次に実施される科目で、それまでに学んだ事柄を総合

的に見直し、相互に関連付けて教員としてのしっかりとした基礎を築くものです。これには、附属学校園の副校長も参加しています。本格実施に向けて、附属学校園の教育実習とも関連させた学生とともに作り上げていく実験的な新たな授業が実施されています。

また、今年度から大学院修士課程生や学部卒の優秀な学生を、教員養成学研究開発センターの特別研究員として採用する制度が始まりました。

⑤ 生涯教育課程に関係する教育研究を地域に発信することを核とした「アーバントアカデミー」構想が進んでいます。教育学部が持つ様々な専門的知識や技能を地域に組織的に発信し、学校外教育の向上を目指すものです。これによって、教育学部の総合的な力がさらに高まることが期待されます。機会がありましたら、皆さんも進んで各種の試みに参加してください。

最後に皆さんが、日常生活の基本的なマナーやルールをよく理解し、遊びはほどほどにして、一生懸命に勉強し、人間の成長を支援する良き専門家となることを期待しています。

若葉の頃



医学部保健学科長
對馬 均

暖冬とは言いながら、暦の上での春を迎えてから寒さがぶり返してきた今年の春でした。北国に育った人々に共通した春への思いは、南国生まれの人には分からない、格別の思い入れがあるように感じられます。

弘前の春を彩るのは、弘前公園の桜ばかりではなく、りんごの花とリンゴの木を取り巻くように咲いたタンポポの花、そして郊外の菜の花といった可憐な花々、そして、その背景を彩る新緑の若葉の絶妙なコントラストではないかと思います。萌えいずる春と言われるように、春は新しいエネルギーに満ち溢れた季節です。また、社会的には新旧交代の季節でもあり、官公庁や学校、そして一般企業等においても新人を迎えて新しい年度がスタートを切ります。当医学部保健学科、大学院保健学研究科におきましても、2百数十人の新入生を迎えることができました。それぞれの希望と夢を胸に抱きながら入学されたことと思います。そう

した初心を常に思い出しながら、これからの学生生活を送っていただきたいと思います。

新入生の皆さんは、そろそろ保健学科での大学生活の流れにも慣れてきたことと思われま。目標として掲げた医療専門職を目指して勉学に励むことはもちろんですが、部活動など、総合大学ならではの課外活動を通して他学部の学生と交流し、さまざまな価値観に触れ、人間としての厚みをつけて欲しいと思います。また、全国でも最大規模の“5専攻からなる保健学科”というメリットを活かして、職種は異なるとは言え、同じ医療専門職を目指す他専攻との学生との協働活動にも積極的に参加してください。間違いなく卒業後の仕事に役立つことでしょう。

文京キャンパスと本町キャンパス間の移動が大変だとは思いますが、便利さの追求だけが文化ではないはずですから、これを逆手にとってプラスに変えるという発想も欲しいところです。

困難に直面したとき人間の真価が問われることとなりますが、そのとき頼りになるのはそれまで培われた知識と経験に他なりません。自信を持つことも必要ですが、自信は努力の積み重ねから得られるものだと思います。畑村洋太郎氏の提唱する「失敗学」という発想にみるように、失敗を恐れず失敗から学ぶことも必要でしょう。

さて、本町キャンパスにまかれた種も、芽を出し、花を咲かせ、若葉を茂らせ、どんどん成長していくことと思います。このエネルギーに満ちた若葉のように、大学での学業、部活動や仲間との語らいを通して、さまざまなことを吸収し、人間として大きく成長されることを祈っております。



皆さんの 新たな出会いに期待

新入生の皆さん、このたびは弘前大学入学、誠におめでとうございます。皆様のご入学を心よりお喜び申し上げます。

入学された時、皆さんは期待と不安が入り交じった心境ではなかったかと想像しています。期待というのは皆さんが選んだ専門分野に対する勉学意欲の顕れによるものでしょう。一方、不安というのは、これまでの高校生活と何がどう違うのか分からないところから来ているでしょうし、あるいは親元を離れて生活を始めた場合、単身でやっていけるだろうかとの不安であったかと思います。とにかく、高校時代までとはいろいろ異なった部分がありますので戸惑いを感じる人が多いかと思います。例えば、大学での勉学において、高等学校までの勉強とは決定的に違う点があります。それは、求める答えが必ずしもひとつとは限らず、複数の考え方が存在する場合もあるということです。つまり、ある問題には複数ある考え方のうちのどれかひとつをとってみても、完全に誤っている訳ではないといった場合です。その様な場合に遭遇したら、問題の結論を短絡的に引き出そうとするのではなく、むしろ、何故そのように複数の答えが出てくるのか、その問題の所在をじっくりと探究して、自分自身の頭で考える習慣を身に付けて欲しいと願っております。そのために、弘前大学では「21世紀教育」と称して、自然科学や社会科学をも含めた幅広い学問領域に対して、できるだけ幅広い関心をもっても

らえるような教育カリキュラムを用意しております。これらの講義や読書等を通して、幅の広い、かつ深い教養を身に付けて頂きたいと願っています。これは迂遠な道に見えて、実はそれが皆さんの将来計画を展開する上で重要な判断材料となるものと確信しております。弘前大学では、そういう勉学環境が整えられているはずで、大学生活の中で、自分自身を見つめ、自身の将来計画を決めていくための大きな糧にしてくれることを切望してやみません。

もうひとつ大学生活で特徴的なのは、全国から集まった人との出会いです。例えば、同じ学科であれば勉学の志を同じくする者が集まっています。だんだん慣れてくれば学科を超えての付き合いもあるでしょう。また、課外活動では学部や学年を超えた付き合いもあります。さらに、社会とのつながりも経験するはずで、皆さんが弘前大学で出会う人の中に、自分の一生に亘って影響を及ぼす人がきっとおられるはずで、つまり生涯にわたる親友であったり、恩師であったりです。中学校や高等学校でも親友と呼べる友達が居たと思いますが、私自身の経験からいっても大学時代の親友はまた意味合いが違ったものがあります。是非ともこの学生時代に、幾人かの良き友人を得て、人生、恋愛、自分自身の将来などいろいろな問題について真摯に議論しあい、友情を育み、豊かなコミュニケーション能力を磨いて下さい。



農学生命科学部長
鈴木裕之

最後になりますが、私自身の印象に残っている名言を皆さんに紹介します。

“人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。しかも一瞬早過ぎず、一瞬遅過ぎない時に……。”

これは、国民教育の師父と称えられた森 信三先生のお言葉です。先生は平成4年に97歳でご逝去されておりますが、先生の残された名論卓説が今も語り継がれております。その中で私にとって印象に残っているひとつが先ほどの言葉です。

弘前大学での人との出会いを大切にして下さい。そして、この言葉が実感できる出会いがあることを心から期待しています。答えがひとつとは限らない問題に遭遇しても、新たに出会った友人との議論や読書等を通して、いろいろな事に幅広い関心をもち続けて欲しいと思います。そして、その過程を通して自分の適性を見出し、皆さん自身の将来計画にとって最も適切な道を切り拓いていくことを心より願っています。

『世界を広げよう』

人間文化課程 4年
古川 菜穂美

1年生のみなさん、今更ですけどご入学おめでとうございます。新しい友達、サークル活動には慣れてきましたか？大学生活って本当に自由でワクワクしますよね。

そんな中、よく周りの先輩から「大学生のうちに遊んどけ」って言

われませんか？私も3年前言われました。今になって気づいたのですが、きっと“遊ぶ”って、経験値を上げてって事だと思います。

好きなことを極めるのもとても素敵だと思いますが、食わず嫌いなしないで、色々な物事を見聞きする事も大切だと思います。視野が広がるし、価値観も変わるし、アハ体験できますよ。時間はたっぷりあるので何でもできます。ささいな事でもいいので、自慢できる何かをして欲しいと思います。そして、学校以外でも何かしてほしいです。アルバイトでも、

在校生から

ボランティアでも。大学という狭いコミュニティ外で得ることは大きいです。大学生活でできる事は無限です！自分で限界作らず楽しんで下さいね。

最後に、なにより大切なものは、友達です。すごくシンプルだけど、勉強よりも大事です。相談したり、くだらない事で笑い合ったりできる友達を作って、いい大学生活にしてくださいね。

出会いを大切に

現代社会課程 3年
佐藤 真衣

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

弘前大学に入学して2ヶ月ほど経ち、そろそろ大学生活に慣れてきたころでしょうか。

私は、弘前大学に入学して、今年で4年目になります。この3年間楽しいことや、辛いこと、後悔したこ

となど、本当にいろいろなことがありました。時々3年前の入学した頃にまた戻れたらいいな、と思う時もあります。

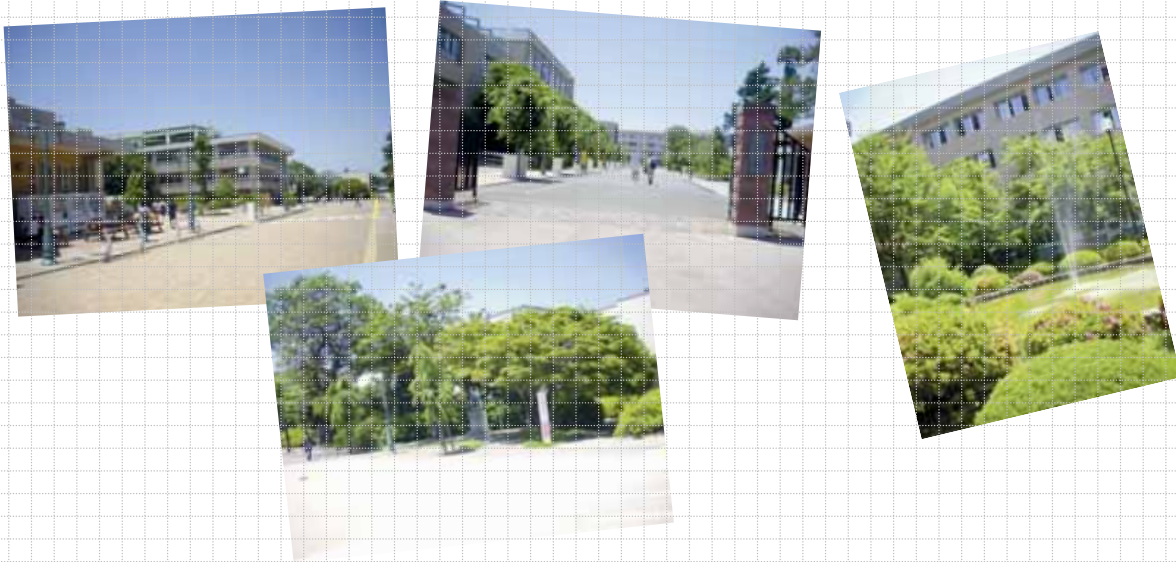
これからみなさんにもいろいろなことがあると思います。その過程で、多くの人との出会いがあるはずですよ。

私も大学3年間でいろいろな人と出会いました。年齢や性別、国籍など関係なく、友達と呼べる存在が多くできました。一緒に笑ったり、私が辛いときには相談に乗ってくれたり、時には一緒に泣いてくれたり……。このような人達がいたおかげで今の私があると思います。

在校生から

昨年1年間留学し、今年1年ぶりに弘前の桜を見ることができました。やっぱりきれいだなと思いました。こうしてまた弘前の桜を見ることができたのも、今の私があるのも、家族や友達、留学中に会った人たちも含め、いろいろな人の支えがあったからです。

新入生のみなさん、これからの大学生活、人との出会いを大切に、常に周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、有意義なものにして下さい。



「1カ月」



学校教育教員養成課程
小学校教育専攻 1年
渡邊 みのり

弘前大学に入学してから、私の生活はがらりと変わりました。まず、親元を離れて学生寮で暮ら

しはじめたことが、一番の変化だと思っています。学生寮での生活は、今までの自分がどれだけ親に頼って生活していたのか痛感させられるものでした。寮の友達や先輩と毎日協力しながら生活することは、なかなかできない経験であり、不都合なことも時々ありますが、楽しいことや嬉しいことは、それ以上に沢山あります。寮に入って本当によかったと思っています。

次に、大学での講義スタイルに驚きました。高校ではもう決まっている時間割を、大学ではシラバスを見ながら、自分の進路や単位数に合わせて一から決めなくてはなりません。大学は全部が自己責任なのだ

分かっていたけれど、最初は本当に戸惑いました。

また、学部内、学部学科を超えた友達ができたことで、色々な考え方の人達と話すことで、毎日とても刺激的です。

弘前大学に入学してから、まだ1カ月と少ししか経っていませんが、信じられないくらい本当に毎日が充実しています。学食でおいしいご飯を食べながら話したり、講義と一緒に受けたり、レポートをやるために集まったり、サークルでの活動を頑張ったり、そういった毎日をこれからも大切にしていきたいです。

目標へ向かって突き進む大学生活



学校教育教員養成課程
中学校教員専攻 1年
檜川 大

私の将来の目標は、どこの都道府

県かは問いませんが、中学校の教員になることです。思春期や第二次性徴等で戸惑いのある子ども達の力になんとしてもなりたいと思うからです。国語科の教員を目指す理由は、国語という科目はすべての教科の基盤になる大事な科目であることを高校生の頃に気づき、気づくのが遅かったことを非常に後悔していて、私のように後悔する子どもが少しでも減ってほしいという願いを持っているからです。

もう一つ、教員になったら部活動の顧問として精力的に活動したいと

思います。私は部活動を、どんな種類のものであれ、子ども達を人間的に大きく成長させてくれるものであり、他者との協調の大切さを学ぶ場、上下関係を知る場であると考えています。子ども達に部活動への参加を呼びかけ、夢中になれる何かを持つ生徒が一人でも増えることが私の願いです。

弘前大学の学生としての自覚を持ち、これからの大学生活を有意義なものとしながら、社会に貢献できる教育を目指し日々頑張っていきたいと思っています。

これからの私

養護教諭養成課程 1年
内藤 亜樹子

弘前大学に入学して1カ月が経ちました。4月下旬に見た満開の桜は、広島出身の私にとってとても新鮮で、感動的なものでした。2年前、初めて訪れたこの弘前を、私は一瞬にして好きになりました。今こうし

て、この弘前大学で大学生活のスタートをきれたことを大変嬉しく思っています。この1ヶ月で、同じ課程の仲間はもちろんのこと、先生や先輩方との様々な出会いがありました。知らない地での生活に多少の不安はありましたが、人の温かさを日々感じながら、充実した毎日を送っています。

私には「養護教諭になりたい」という強い思いがあります。自分と同じ思いをもった仲間と一緒に、専門の先生方のもとで学べるとい

は、私にとって一番幸せな環境です。この環境を大切に、仲間と支え合い、高めあいながら4年間しっかり学んでいきたいと思っています。私はこの4年間で養護教諭としてはもちろんのこと、ひとりの人間として成長したいと思っています。何事においても、人と関わる上で人間性が何よりも大切だと思うからです。大学生活では、積極的に多くの経験をし、いろいろな人やものから吸収し、器の大きな深みあるしなやかな人になりたいと思っています。

私が目指す大学生活



学校教育教員養成課程
障害児教育専攻 1年
野々宮 かおり

弘前大学に入学して早くも一ヶ月がたち、徐々に大学生活にも慣れ

始め、周りにも目を向けられるようになってきました。

私の専攻している障害児教育では、知的障害や身体障害など障害を持つ子供たちと接することが多いため、様々な活動を通して子供たちから学ぶことも少なくないと思っています。ですが、残念ながら障害児というのは世間的に偏見の目で見られてしまう面も少なくありません。皆が皆、障害を持った子供たちと接することに抵抗を感じないというわけではないのだと思います。障害を持った子供たちは他の子供たちより少しだけ苦手なことが多く、誰かの手助けを少しだけ多く必要とするだ

けなのです。それ以外は健常者と何も変わりません。

私は大学生活での四年間を通して少しでも多くの人たちと一緒に障害児と関わり、子供たちの良さを理解してもらいたいと思っています。そして、同じ専攻の仲間たちと共に障害児の手助けがしっかりとできるような特別支援学校の教師を目指して頑張っていきたいと思っています。

また、勉強以外でもサークルやボランティアなど様々なことに意欲的に挑戦し、先輩や友達たちとの充実した大学生生活を送っていきたいです。

「弘前大学の新たなメンバーとなって」



生涯教育課程
地域生活専攻 1年
石田 名子

弘前大学の新たなメンバーとなっ

て、今はまだ不安なことがたくさんありま

す。その中でも、勉強についていけるかということが一番の心配です。

最初は、授業を自分で決めることにとりまどいました。たくさんある授業のなかで、社会学の基礎、言語学の基礎、数学の基礎、経営学の基礎、地学の基礎、文学の基礎を選びました。必修の英語は、すごく苦手で大変ですが、ちゃんとついていけるように、なれない予習をがんばりたいです。多言語では中国語をとりました。発音が難しいですが、

先生から本物の中国語を聞けるので楽しいです。情報処理は、機械操作が不得意で大変ですが、友達に聞いたりして頑張っています。どの科目も結構専門的な感じで、理解するのが大変です。ですが、いままでにない角度から学ぶことができるので、とてもたのしく勉強できています。

今はまず、勉強についていくのがやっとなので、目の前のことをしっかりとやっていきたいです。そして、自分が何をやりたいのか考え、目標をしっかりと決めて、いっぱい勉強を頑張っていきたいです。

「大学生として頑張るぞ、という宣言。」

生涯教育課程
芸術文化専攻 1年
舘田 優

大学生。なんとも心地の良い響きです。

肩書きだけでなんだか少し高校生の頃の自分より成長できたような気さえます。

そう、弘前大学の生徒となった

今、僕はこれから始まる四年間に大きな期待

を抱いています。

一人暮らし、サークル活動、新たな友人。

大学生活は新たな刺激に満ちあふれているように思えます。

しかし、大学生活と今までの小中高の学校生活の最も大きな違いといえば、やはり、「自分の学びたいことを専門的に学んでいくことができること」でしょう。

大学生活とは、何もせずに暮らすには長く、やりたいことを見つけ存分に学び、進歩していくには、短いように思えます。

まだまだ、新生活にも慣れず、どたばたと過ごしている僕ですが、4年後、「充実した学校生活」だった！と胸を張っていえるために、夢に向かって、実りある時間を送りたいと思っています。

この宣言が、どうか「口だけ」にならないように、頑張ります。

弘前大学に入学して

医学科 1年
白石 高彬

弘前大学医学部に入学してからそれまでの生活と大きく変わったことは、友達の数が増えたことと一人暮らしを始めたこと、部活を始めたことだ。浪人しているときは予備校の周りの席の人とも話さず、自分で勉強できる時間を稼ぐことだけを考えていた。そして朝起きれば母親が用意してくれた朝ごはんが卓上にあり洗濯物は洗濯機に投げ捨てるだけで済み、体を動かすときは自宅で自分のペースでダンベルを持ち上げたり腕立てをしていた。だが入学してからは一人でいる時間はほとんどな

く、仲のいい友達と一緒にいることが多くなり、学食がやっていない日は自分で米を炊き、週に三回程は二、三時間ほど部活に精を出す。つまり大学生活に入ってからには暇になるどころか毎日が忙しく、そして充実したものになった。

大学の授業は高校のときに比べてコマ数が少なく、内容は科学系のものは高校のときのものと被っていることがよくあるが、先生方はテスト対策ではなく細かいところを詳しく教えて下さることが多いので、どの辺りがどのように定期テストに出るか分からず勉強する側としては難しいところだ。やはり友好関係を大切に、部活にも打ち込み、そして医学の知識を医療従事者を目指すものとしては当然だが確実に修得するには要領のよさも大切になる。それに

はやはり時間を無駄にしないことだ。時間を上手く使うというのは難しいと言えば難しいことだが特に医師になってからではできないでは済まされない。まずはボーっとする時間をなくしたり、衛生管理を丁寧にかつ迅速に済ませることが第一だと思う。

話は変わるが学食は美味しい。高校の学食のようにラーメンの麺が固まっていることはないし、ご飯がグチャグチャだったりパサパサだったりということもない。オススメは期間限定のフェアでやるものとそしてさば味噌だ。鯖の身はやわらかく、そして味噌ダレは絶妙なバランスの甘さと味噌の味を含んでおり、鯖とよく合っている。とにかく学食は美味しい。

弘前大学に入学して

医学科編入学 3年
赤石 真啓

弘前大学に入学してから間もなく2カ月が過ぎようとしています。

昨年の今頃、私は新潟大学の歯学部を卒業し、母校での卒後研修を緊張しながら過ごしている中で、学士編入試験の準備を進めていたころでした。

幸いにも合格することができ、私の故郷で再び学生生活をスタートさせることができました。同期入学の皆は興味深い経歴の持ち主ばかりで、医学を学ぼうとするモチベーションの高さに圧倒されつつも心強く感じております。また3年同期の皆さまとも親交を深め、ともに学んでいく仲間としてどうぞよろしくお願いしたいと思います。

さて入学してからの学校生活といえば、月曜から金曜まで、朝の8時半から5時半まで空白なく過ごして

おり、予想以上のハードさです。歯学部でも解剖学など基礎医学も勉強しましたが、学年が進むにつれ、補綴(冠や義歯を作る)など歯科臨床を学ぶことに終始していたと思います。現在はそんな過去を省み、この時期を大切に過ごしております。そして将来、青森の医療に貢献できるよう勉学に励んでいきたいと思っております。

先生方にはいろいろお世話になりますが宜しくお願いいたします。



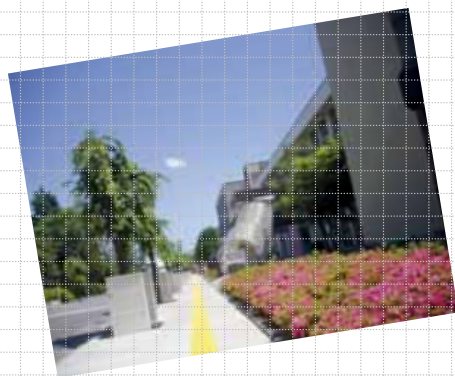
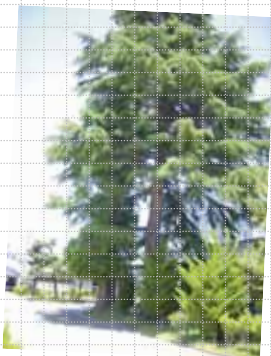
医学部

医学科 1年
木下 裕貴

入学した現在となって感じることは従兄弟の事故死が医師を目指した原点だったということです。中学2年の時、新人戦が終わって自宅に戻ると、従兄弟が運転中に海に落ちて病院に搬送されましたが危篤状態であるとの電話が入りました。従兄弟はその後他界し、私はなぜ助けられなかったのかと担当した医師を憎みました。しかし、年齢を重ねた今となって振り返ると、引き上げられて息がなかった事故現場から車で1時間かかるむつ総合病院において救出するのは大変困難だったと思います。高校に入学してから職場体験等を

通して自分の地元が医師不足であることを知ると共に近年マスコミでも報道されている地域における医療格差を実感し、私が医師になってむつ市の医療を変えたいと思うようになりました。弘前大学医学部に入学した現在、先生方のお話を伺い、早く医師になって現場に立ちたい、海外に留学し、より高度な医療を青森県民に提供したいという意欲が湧いています。医師の資質は数多くあると思いますが、私の中でこれだけは信念として持っておきたいと思うものは、自分が患者に近い存在でありたいということです。例えばお年寄りに限らず、子供においても患者は話を聞いてもらうだけで気持ちが明るくなり、元気になると思います。肉体的な治療だけではなく、精神的な

ケアも行うことで治療がより円滑に進むと思うのです。
下北地域の診療所が次々と閉鎖する中、地域で一番大きなむつ総合病院でさえ常勤の先生がいない科があるのは住民の不安要素のひとつです。大学6年間の個人の目標としては、今後自分自身を勉学、部活動の両面において磨き、青森県の医療によりよい貢献をできるようにすることですが、何よりも青森県全体の平均寿命や医療の質を上げ、他県の模範となれるような地域づくりに精進したいと思っています。そのためにもこの6年間で仲間と一緒に医師としての基盤を築き、卒業後も弘前大学との連携を大切にして頑張っていきたいと考えています。



看護学専攻 1年
館田 哲幸

私は将来看護師になることを目指して看護学専攻を選びました。看護は男子が少ないと聞いていたので、友達があまりできないのではと不安に思っていました。しかし、新入生

の男子は14人もいて安心しました。その男子たちは惚れてしまいそうなくらい、いい人ばかりで、お陰で幸せに大学生生活を送っています。

また、医学部のテニスサークルに入り、入学してから一ヶ月しか経っていませんが、看護学専攻以外の医学部所属の人たちとボウリングや花見、カラオケに行き、交流を深める

ことができています。

これからの残る課題は学業です。現在、90分の長い授業を最後まで集中力を持ちながら受けるのは大変ですが、将来医療に携わることを意識して、中途半端な気持ちで授業に臨まず、何事にもしっかり集中することを心がけて4年間の大学生活を送りたいと思っています。

目標へ向かって突き進む大学生活



放射線技術科学専攻 1年
国分 達郎

「同じ東北なのに…」

弘前に来て約1ヵ月、もう1年ぐらい住んでいるんじゃないのかと思うぐらい充実した毎日です。私は福島出身ですが、(冬ではないためか)思っていたほど寒くもなく、やはり、同じ東北地方なのだなと思っていました。しかし、ここの出身の友達と話した時、大きな違いを教えられました。津軽弁です。目が点になりました(笑)。日本語の方言と部類し

て本当にいいものか? いっそのこと津軽「語」としたほうが…といった感じでした。今はその友達から、まるで英単語を教えてもらうように津軽弁を教えてもらっています。今年中には覚えたいです。方言一つで大騒ぎしている私ですが、これから各地方から来ている人達や、異文化に触れ、自分の幅を広げていきたいと思っています。



検査技術科学専攻 1年
小川 久美子

こんにちは。検査技術科学専攻の小川久美子です。入学して約一ヵ月、ようやく大学生活にも慣れてきました。私は県外からの進学だったので最初はとても不安でしたが、サポートセンターの方などたくさんの先輩方が優しく接してくれて、心強かったです。また、医学部の部活に入り、学科や専攻が違う先輩・友達もできてとても充実しています。

入学したばかりの頃は、授業のこ

とよりも友達が出来るのか、という心配のほうが大きかったのですが、すぐにたくさんの友達が出来ました。

大学では高校と違って自分の好きな講義を選択することが出来るので、楽しく勉強できます。空き時間も多いため、勉強ももちろんですが、これからたくさんのことを経験していきたいと思います。



理学療法学専攻 1年
桜庭 勇人

弘前大学に入学して早1ヶ月、よ

うやく新しい環境にも慣れ、日々が充実し始めてきました。私はこの1ヶ月の間でたくさんの人と出会いました。サークルや部活での絡みや同じ専攻の同輩・先輩、そして教授の方々など、数え切れないほどです。そして、多様な考え方に出会うことができました。私自身が狭いものの考え方しかできないこともあり、それらの考え方というのはとても新鮮で、自分のためになるものばかりでした。もちろん、自分とは正

反対の意見もあれば、似ている部分をもつ意見もありました。しかしそれらの考え方を深く考えてみることで、自分には無い要素をその中に見つけることができました。私はこの経験から多くの人と会うことは自分にとってとてもよいことだと学びました。そしてこれからの大学生活を通して、そのようなよい人間関係を今まで以上に築いていきたいと思っています。

「楽しい大学生活」



弘前大学は素晴らしい。私はこの最高の環境の中で、立派な作業療法

作業療法学専攻 1年 三橋 佑平

士になれるようしっかり頑張ろうと思う。最高の環境とは何だろうか。そう、食べ物がうまいという事である。文京キャンパスで講義を受けたあとは学食へ行く。ここで食うカレーは絶品である。講義の後、学食に行きカレーを食う。この一連の流れがあってこそ、学食のカレー。何をもってしてもこれに勝るものはな

い。また、医学部キャンパスで講義を受けたあとは売店だ。唐揚げ親子丼がこれまた非常にうまい。ただの親子ではない唐揚げだ。唐揚げと聞けばそのおいしさを伝えるのに十分であろう。絶品である。食べ物がうまいと勉強も進むのだ。優しい先輩や先生に助けられながら、分厚い教科書を持ってこれからの四年間、よく勉強し、よく食べて、大学生活を楽しんでいきたいと思ひます。

「“大学院生として学ぶ”ということ」



私は昨年、青森県の自治体に勤めていました。その時に数々の疑問を自分なりに解決したいと思ったこと

大学院保健学研究科
看護学領域（博士前期課程）1年 小林 佳人

をきっかけに、弘前大学博士前期課程の受験を試みました。現在では秋田県の自治体にて保健師をしながら夜間や休日の時間を使い大学院生として各専門機関の連携について学んでいます。

働きながら学ぶということは大変なものです。しかし、大変な中にも学ぶことの楽しみがあるとも感じています。自分が働きながら学んでい

ることで日々の業務にも生かしている部分や、自分の視野や考え方が構築されていくことを日々実感できることが楽しみにもつながるからです。今はまだ知らないことのほうが多い大学院生活ですが、院の仲間と共に自らの目標に向かって努力していけるよう、希望を持って頑張りたいと思ひます。

「大学院への意義」



大学院へは、今まで学んできた知識を踏まえ更に発展させることで自

大学院保健学研究科
生体情報科学領域（博士前期課程）1年 金行 由樹子

己研鑽していけると思ひ進学しました。学部の時とは違い大学院での講義は、より専門的な知識を効率的かつ幅広く、深く学ぶことが出来ます。更に「研究」という新しい目標を持つことで高度専門知識の習得や技術、実践できる能力を養うことができます。それらを通じて新たな課題

に果敢に挑戦する意欲と忍耐の機会から、自立した研究者として成長しつつ社会の各層への貢献の一助につながるのではないかと思います。これからの大学院生活では、それぞれの研究意義について常に考え、新たな可能性を追求し、創造性を持ち、日々努力をしていきたいと思ひます。

「前進アルノミ」



今年、弘前大学で7度目の春を迎えました。私は弘前大学医学部保健学科検査

大学院保健学研究科
医療生命科学領域（博士後期課程）1年 工藤 藤美

技術科学専攻を卒業し、この春に弘前大学大学院保健学研究科博士前期課程を修了、そして博士後期課程に入学しました。かねてから研究職に憧れ、免疫学を研究するために大学院へ進学したのですが、私は病原体と戦っている免疫細胞を相手に日々格闘中です。研究には辛い場面もありますが、研究だけに専念できる学生の身分であ

ること、また先生はもちろんですが自分を成長させてくれる研究室メンバーがいることから、非常に恵まれた環境であると実感しています。今後の目標は自立した研究者を目指して邁進することで、将来は社会に還元できるような研究に携って行きたいと考えています。私の今できることは前進あるのみ！不撓不屈の精神で頑張りたいと思ひます。

大学に入学して



数理科学科 1年
松頭 弘也

弘前大学に入学して約1ヶ月が経ちました。弘前に来る前、僕は一人

暮らしや大学生活への不安や期待でいっぱいでした。今では初めての一人暮らしにも慣れて、大学生活を満喫しています。

僕が所属している数理科学科では主に数学を学んでいます。僕は数学が得意ではありません。それでもなぜこの科を選んだのかというと、僕には夢というより目標があるからです。今はその目標のために、初心を忘れず、目の前のものにひとつずつ全力で取り組んでいきたいと思っています。

僕は部活に入部したので多少は忙しくなるとは思いますが両立していきたいです。僕の高校時代を振り返る

と、野球をするために高校に行っていたようなもので、勉強と部活の両立ができていませんでした。なぜできなかったと今改めて振り返れば、自分自身で思い当たる節がたくさんあるので、大学での4年間はその反省をふまえ、様々なことをうまくやりこなす力を身につけられるよう頑張ります。

支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れずに大学での4年間を謙虚に過ごしていきたいと思っています。

弘大に入学オメデト



物理科学科 1年
木村 太一

大学に入学して1ヶ月以上過ぎ、少しは大学にも慣れてきました。入学して始めのころは大学生活にいる

いと不安がありましたが、いざ大学生活を始めるとすぐに友人ができ、わからないことは一緒に考えることができ、また何か情報があれば共有し合えたので、悩みや不安を抱えることなく、良い大学生活のスタートが切れました。大学生活では勉強だけでなく部活やサークルにも力を入れて頑張っていきたいと思っています。

勉強では、それぞれの学部学科で学ぶものが少し違いますが、その知識や技術は自ら進んで求めてゆかなければなりません。このことを忘れずに4年間持続していきたいと考えており、就職に関しては、これから3年先に決めなければなりません

が、それも自分が学ぶべきものをしっかりと学んで自分が何に適しているか、将来何をするのがよいかを自分自身で判断して、自分が大学で学んだ知識と技術を活かせるよう考えています。

とにかく、大学生活はまだ始まったばかりなので、大学生活での部活や友人との交流、またバイトなどいろいろなことを経験するだろうという期待が大きい中で、あまり羽目を外しすぎないように注意して勉学に励み、まずはこの1年を無事に過ごし、来年の新入生にいろいろと教えることができるように頑張っていきたいです。

これからの大学生活



弘前大学に入学してから、約1ヶ月が経ちます。入学当初、自分には

電子情報工学科 1年 上村 駿洋

不安しかありませんでした。知らない土地に一人放り出され、右も左も分からずに途方に暮れている状態でした。しかし、日が経つにつれて大学にも徐々に慣れ、新しい友達もできたことで、不安というものはほとんど無くなり、逆にこれからの大学生活に楽しみを感じるようになりました。

大学というのは高校とは違い、自

ら勉学に励み、自ら物事に取り組み、自ら決めた道を進んで行く場所です。自分は少しは大学に慣れたとはいえ、まだ高校生の時の自分から完全には抜け出せていないと感じています。だから、この未熟な自分を鍛えるためにも、この大学生活を通して、様々な事を見て経験し、自分の成長につなげていきたいと思っています。

期待にあふれた生活



入学してから、もうすぐひと月が経とうとしている。この期間は緊張

智能機械工学科 1年 山田 和史

が抜けきらないまま過ごしていたため、頭に入っていないこともあるかもしれないが、その分はこれから補っていこうと思う。

私は、自分の夢を叶えたいと思ってこの大学を選んだ。そして、この大学に入学できたことをとても嬉しく思っている。大学に入学してから経った日数は少ないが、たくさんの出会いがあった。同じ地域から来た

人もいれば、まったく正反対の地域からの人もいたことに驚いた。また、サークル活動を通して、先輩方と仲良くなることも出来た。これから専門科目が増えてくると、教授方との出会いも増えると思う。私は、その人との出会いのリンクをこれまで以上に大事にして、この大学生活を過ごしていきたい。

大学院に入学して



数理システム科学専攻
前期博士課程 1年

若狭 尊裕

秋田大学を卒業して初めて弘前に来ました。さまざまな環境の違いに戸惑いながらも新たな研究生活が始まり、うれしさ半分不安半分。

大学院へ行こうと思ったきっかけは、単純に数学が好きで続けたかったというのと、未解決問題への興味からというのが大きな要因だと思います。秋田大学では教育文化学部だったので、今までは周囲にそんなに数学を純粋に突き詰めたいという人がいませんでした。しかし大学院に入学してからは周りに数学好きが

集まり、まだ1ヶ月しか経っていませんともとても充実した日々を過ごせて大変嬉しいです。

研究していく命題が未解決問題についてのアプローチということで、どの方面から攻めたらよいか決まった道しるべがないという不安の反面、ふと違った方面からのアイデアで道が見えるかもしれないという希望もあり、可能性を信じて命題解決の糸口を見つけようと思います。

『今だから感じる、充実した大学生活』



分子生命学科 1年

南部 一貴

弘前大学に入学して一ヶ月が経ち、私は徐々に大学の生活に馴染ん

できています。

私は札幌から『遺伝子に関することを学んでみたい!』と志し弘前大学に入学しました。

実は、大学はひたすら学問を学ぶだけの場所だと思っていました。浪人生だったこともあり、受験勉強の事が最優先だったのかもしれませんが。ですが今は、『自分の世界を広げてくれる場所』だと思っています。

目指している勉強や講義はもちろん、サークルを通じて物事に挑戦し

たり、様々な価値観を持つ人との触れ合いも、今まで知らないことを学べ、レベルを上げてくれる大事な要素です。

勿論、大学生になることへの不安も大きかったです。いざ入学して何をしよう。札幌の友達はいなくなるのに上手くやっていけるだろうか。一人暮らしをするにも、自立した生活はできるか……考えているうちに一ヶ月は楽しさの中であっという間に過ぎ去ってしまいました。

充実しているがとても短い大学生活を、これからどう過ごせるかを課題にがんばりたいです。

「好奇心」



生物資源学科 1年
松本 真衣

「大学の4年間はあっという間に過ぎるからね～」と、入学前に大学生の友人や先生から散々言われたので、私は好奇心の塊と化して、気に

なる事にジャンジャン手を出しています。その結果、入学してから約1ヵ月たった現在、とても多忙な、でも物凄く充実した毎日を過ごしています。平日は授業と自転車、土日はパラグライダーと遊びに追われています。

土日のパラは本当に楽しくて仕方ないです！朝8:30に集合して4:00くらいまで練習し、その後温泉、ご飯、先輩の家に集まってワイワイしているうちにウトウト…してたら翌日1コマ!? という具合です。先日の初フライトは最高に気持ち良かったです！私にとってパラはもはやファミリー的存在なので、1人暮らしですがホームシックにはなりません。またパラ以外にも土日は友人と

DVD鑑賞したり、スキーサークルの方と集まってワイワイしたりと、リフレッシュは完璧です！

さて授業の方ですが大学の授業は選択なので、興味のある講義が聴けるとあって、積極的に講義を受ける事ができています！特に生物ⅡBはとても興味深い内容で、毎回講義が楽しみです♪また学科の雰囲気は(教授も含めて)アットホームなので、のびのび授業に参加できるのが有難いです。

まだまだ大学生としては新米で、今後苦労する事もあると思います。今の好奇心を大切に今後さらに充実した大学生活を送れるよう毎日を大切にしていきたいです。

弘大に入学して



園芸農学科 1年
伊野 樹華

私は実は弘前大学は第一志望ではなく、合格してから行くかどうか

正直なところ悩みました。しかし本当に来てよかったと思っています！4つの大学を受験して弘前大学だけ合格したのも、きっと運命だったんだと思っています。

弘前に来る前にいろんな人達に「弘前はいいところだよ～」と言われていましたが、住んでみて本当にいい所だと感じています！まず自然と歴史があるところ。学校からも見える岩木山は本当に綺麗で大好きです。お城もあります。あと美味しい食べ物屋さんがたくさんあります！私の生き甲斐の半分は食べることなのでこれは実は重要なことなのです(笑)。

大学での私の目標は「新しいこと、苦手なことに挑戦して人間の幅を広げる」ことです。せっかく自由な時間ができる大学時代に色々なことに挑戦しないのは絶対損だと思います！新しいこととして早速パラグライダーサークルに入りました。あと社会に出たらパソコンの技術と英語は必須なので、応援塾とACEに通っています。どちらも苦手なのですが克服すれば少し自分を変えられると思うので頑張ります！いろんな経験をして、卒業するまでには社会の役に立てるような人間になりたいと思っています。

弘前大学の一員として



地域環境工学科 1年
宮田 大睦

弘前大学へ入学して約1ヶ月が経ちました。北海道から親元を離れての初めての一人暮らしもだんだんと慣れてきて、未だに洗濯やら料理やは

大変ですが友達と夜明かししたり、サークル、学生委員会などで充実した学生ライフを送っています。

今でこそ楽しいと言えますが、正直入学するまでは楽しみなことよりも「彼女はできるのか」とかいうどうでもいいことから、「授業についていけるのか」「友達はできるのか」などのなかなかヘビーなことまで結構多くの不安を抱えていました。

そんな不安も、本格的に大学が始まるにつれて解消されていきました。

自分が弘前大学に入学した理由は「やりたいことを学び、しっかり実のある勉強をしたい」と思ったからです。

今はまだ教養科目などを中心に学習している最中なので一概になんと

も言えないのが本音ですが、「自分の選択は間違っていなかった」と胸を張って言えるような努力をしていこうと思っています。

弘大に限らず、大学生活は比較的自由が効くものです。自由が効くからこそ自分の行動に責任を持ち、かつ「遊びは遊び、勉強は勉強」といったメリハリを付けていくことが大事ではないかと思っています。こういった部分では大学生といえども社会人の中の一人だと改めて実感させられます。

弘前大学に入学したことで、自覚、誇りはもちろん、言い過ぎかもしれませんが地域の模範となるような人間になっていけるように努力していこうと思います。

新一年生の皆さんへ



生物学科 2年
坂 有希子

新1年生の皆さんご入学おめでとうございます。
私は農学生命科学部生物学科の2

年生です。大学生生活を思いっきり楽しんでますか？

参考までに私の大学生ならではの楽しい日常を紹介しようと思います。

私の在籍している生物学科は名前通り生物好きな人が集まっている学科です。生き物が好きといっても、犬を見るととんで行ってしまう人、猫にキュンとしてしまう人、キツネ好き、ペンギン好きと様々。そういう私の恋人はオウムです。

そんな学科に所属している私達にとって嬉しかった事は今までマニアック過ぎて話せなかった生き物の話題で友達と盛り上がる、ということでした。「昨日野良猫に会った」

在校生から

から「キイロタマホコリカビって可愛い」まで何時間でも盛り上がる楽しさと言ったら。こんな風にコアな会話ができる友達と大学では出会えます。

貴方がどの学部のどの学科、コースでも貴方と趣味の合う人は必ずいます。貴方の恋人は素粒子？ルネサンス？それとも細菌ですか？鳥類だ！と言う方は是非お友達になりましょう。

貴方も今までマニアックすぎて友達と話せなかった話題で思いっきり盛り上がってください。大学が素敵な所だと心から実感できますよ。

大学生活について



生物生産科学科 4年
砂田 真吾

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活も1ヶ月を

過ぎましたが、慣れてきましたか？私は大学に入りたてのころは、授業のとり方や大学内の施設の場所も分からず、友達とよく相談していました。

そんな私もすでに4年生となり、大学生活もあと1年となりましたが、今までの3年間は、非常に短く感じられます。私は自由で充実した時間を過ごせるのは、人生でこの大学生活の時間だけだと思います。ここで大学生活をちょっと紹介してみます。

大学は高校と違い授業科目が自由に履修できるうえ、自分の自由な時間も多くとれます。その反面、時間が余りすぎ、ともしれば暇になりが

在校生から

ちです。時間を有効に使うため、サークルやアルバイト、運転免許の取得など計画的に行動したほうが良いでしょう。

また、高校までと違いHRがないため、連絡事項などの掲示をうっかり見落とすことがあります。よく掲示板を見るように心がけてください。

他にも紹介したいことがあります。生活を送るにつれて、分かってくるものがたくさんあると思います。これから4年間大学生活を十分に楽しんで、良い思い出を作ってください。

希望と忍耐と



地域環境科学科 3年
土谷 樹生

私は25歳でこの大学に入りました。高校を卒業し2年の浪人生活を経て、一度は大学に入学はしたもの

1年で休学、そして退学しました。その後自分でアルバイトを色々しながら、勉強し受験する、という生活を続けていました。24歳の春、このままではダメだと思い親に頼みこんで改めて予備校に通うことに。とにかく勉強がしたかった。だから、合格通知をもらった時は本当に嬉しかったです。改めてくぐった学びの門の中はすべてが新鮮で、改めて人生をやり直せる、そう思いました。その思いは今でも変わりません。新入生の皆さんは、どうでしょうか？今は新しい生活が始まったことで、それだけで嬉しいのだろうと思います。ただ、いつまでも浮かれている

在校生から

場合ではありません。社会に出る事を拒み、学びの場に身を投じたのですから、積極的に学んで下さい。時に自分の人生に関係ないと思う授業もあるかもしれませんが、少し耐えてみて下さい。あの時頑張って良かったと本当に思える時が来るはずですよ。大学はたくさんさんのチャンスに溢れています。受け身ではなく、積極的にチャンスを掴みに行きましょう。得られる対価に期待して、努力という代償を惜しまず共に頑張りましょう。

Ⅲ 研究室紹介

理工学研究科地球環境学専攻 有賀研究室 忘れた頃に必ずやって来る地震と防災



平成20年度の卒業生 (左から有賀、中居、工藤、荻原、欠席:那須)



平成21年度の4年生 (左から有賀、平野、奥野、熊谷、斎藤)

1 2年目を迎えます

2007年11月に着任し、この6月で約1年7ヶ月を迎えます。専門は、地震・防災工学です。地震防災は、人の生命と財産を守ることができる技術分野であることに大変やり甲斐を感じ、毎日の教育と研究に取り組んでいます。自分にとって初年度となった、平成20年度は、4人の4年生が研究室に来ました。みんな卒業研究を済ませ、一人は本学の大学院博士前期課程に進学し、一人は北海道庁、二人は民間企業に無事に就職しました。平成21年度も、4人の4年生が研究室に来ています。したがって、現在の研究室メンバーは、大学院生(博士前期課程)1人、学部4年生4人と自分の計6名です。

地震防災に関する研究としては、ダムや電力施設の耐震性能照査法の精緻化、老朽化した既設構造物の地震対策技術の合理化、免

震ジョイントを活用した地上構造物と地下構造物の接続工法の実用化、地震時の挙動が複雑な洪水吐の耐震性能照査、地表に現れる地震断層の変位に対する長大構造物の安全性評価法の開発、三次元解析技術と緊急地震速報等を活用した即時的地震防災技術の開発等に取り組んでいます。

2 忘災と防災

“天災は忘れた頃に来る”というフレーズは、1923年の関東大震災の後に寺田寅彦が言ったものとされています。寺田寅彦は、一般には、夏目漱石門下の随筆家として良く知られており、「吾輩は猫である」の水島寒月や「三四郎」の野々宮宗八のモデルになった人と言われています。しかし、本業は、東京帝国大学の物理学の教授でした。寺田寅彦は、理学と文学の融合を自己完結的に実践した偉人で

あると思います。

ところで、“ぼうさい”という言葉には、災害を忘れるという意味の“忘災”と災害を防ぐという意味の“防災”という2通りの漢字をあてはめることができます。発音は同じですが、“防災”の敵は“忘災”と言うことができます。ちなみに、“防災”という用語は、新しい現代用語のような感じがし

“ぼうさい”心得十カ条(有賀選)

忘 災

- 天災は忘れた頃にやって来る (寺田寅彦)
- 喉もと過ぎれば熱さ忘れる
- 知らぬが仏

防 災

- ◇ 地震、雷、火事、おやじ (日本固有)
- ◇ 備えあれば憂いなし。
- ◇ 転ばぬ先の杖。
- ◇ 君子危うきに近寄らず
- ◇ 砂上の楼閣
- ◇ 今日人の身、明日はわが身
- ◇ 防災の敵は忘災(選者)

ますが、実は、1935年に「防災科学」(岩波書店)という本が刊行されており、防災という言葉は今から70年以上も前に使われ始めています。

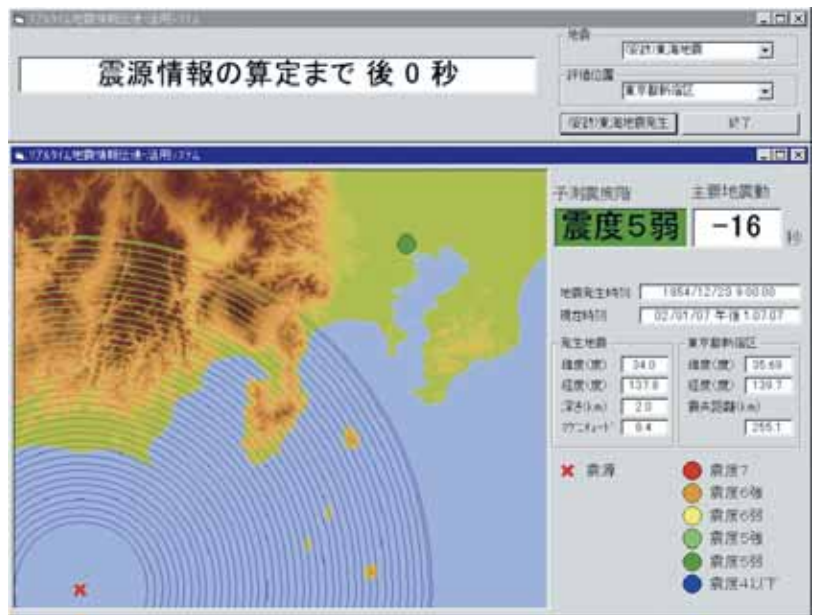
地震が再びやって来るインターバルは、人間の寿命よりも遥かに長いので、地震防災を実現するためには、人生経験に学ぶだけでなく、歴史的な視点から学ぶことが必要になると思います。最近、国内では、1995年兵庫県南部地震(M7.3、M: マグニチュード)、2000年鳥取県西部地震(M7.3)、2004年新潟県中越地震(M6.8)、2005年福岡県西方沖地震(M7.0)、2007年能登半島沖地震(M6.9)、2007年新潟県中越沖地震(M6.8)、2008年岩手・宮城内陸地震(M7.2)等の被害地震が立て続けに発生しています。地元の人にインタビューすると、ほぼ異口同音に“ここは、地震が無いところなんだけど…”という趣旨の答えが返って来るのが通例ですが、歴史を調べると過去に同じ地

域で類似の地震が発生していることが判明する場合があります。

ここ弘前では、1766年にM7¼クラスの直下地震が発生し、江戸時代の当時、弘前領内で圧死者が約1000人、焼死者が約300人であったとの記録があります。今年で、1766年からは243年目です。

3 地震の揺れが来る前に出来ることがあります

2007年10月から緊急地震速報の一般配信が気象庁より開始されました。緊急地震速報は、地震の発生直後に、震源に近い地震計で観測したデータを解析して地震の震源位置やマグニチュードを直ち



緊急地震速報の表示画面の例

この画面は、16秒後に震度5弱の揺れが来ることを表している例です。地震の揺れの伝播を示す同心円は1秒毎に拡大し、地震の揺れの到達時間がカウントダウンされます。

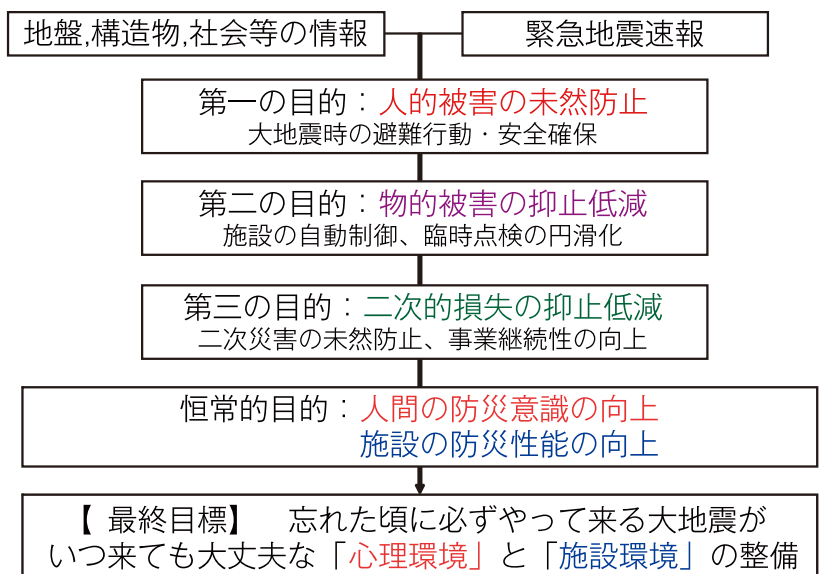
◆身の回りの地震時安全チェック

普 段

- 家の周りの地盤や斜面は地震の時に大丈夫ですか？
- 建物は地震の時に大丈夫ですか？
- 家具やテレビは適切に固定していますか？
- 寝ている時に家具等の下敷きにならないようにしていますか？

地震直前

- 緊急地震速報の意味と活用方法を知っていますか？
 - テレビやラジオから緊急地震速報が聞こえてきたら、どう行動しますか？
- (平日・休日、昼・夜、自宅・外出中等、様々な状況が想定されます)



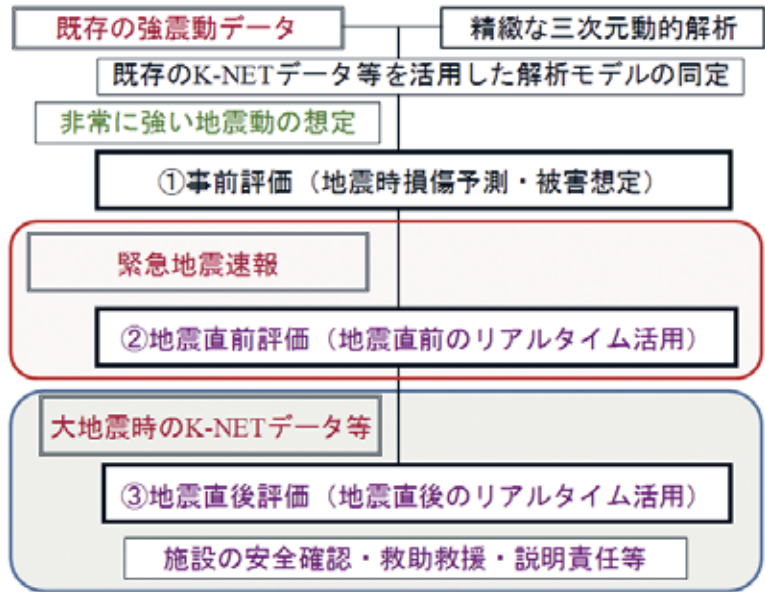
緊急地震速報の活用目的

緊急地震速報を上手に活用すれば、地震の揺れが来る前に出来ることがあります。

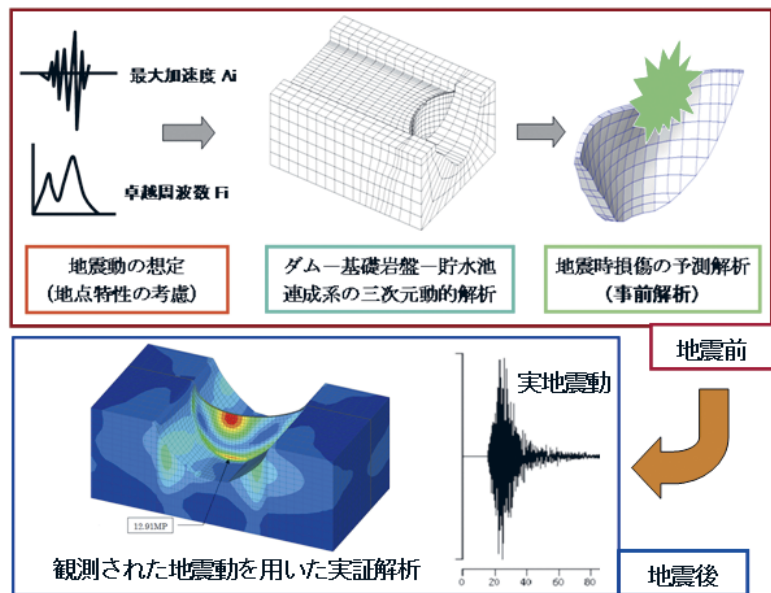
に推定し、それに基づいて、これから地震の揺れが伝わって行く地域の主要動の到達時刻や震度を推定し、可能な限り素早く知らせる情報です。大地震が発生した際に、地震の揺れが来る前に地震の発生を知ることができるので、緊急地震速報を上手に活用することによって、自分や家族の身の安全を守ることが可能になります。また、エレベータ、精密機器の製造ライン等の自動制御に緊急地震速報を活用することも可能になりつつあり、設備被害や経済損失の軽減も期待されつつあります。

4 三次元解析と緊急地震速報等を活用した地震防災技術

地震被害を受けた際に社会的に大きな影響を及ぼす構造物や施設に関しては、大地震の際に損傷の程度やその状況を迅速かつ正確に把握し、地震直後の安全確認や安全・安心情報の発信をタイムリーに行うことが必要になります。ダムや電力施設は、重要な社会基盤施設であり、所定以上の震度の地震が発生した時は所定の時間内に臨時点検を行い、その結果を関係機関等に報告することが義務付けられています。過去の地震被災事例を見ますと、大地震の際には、①どんな地震が発生したのかを正確に認識するのに時間がかかること、②どんな被害が発生したのかを把握するのに時間がかかること、③地震や防災に通じた技術者が通常は現場にはいないことが多いこと、④被害が大きくなるほど責任と権限の所在が複雑になり迅速な意思決定ができない場合が多いこと等の課題があることが分か



三次元解析と緊急地震速報等を連携させた既設構造物の即時的な地震損傷評価のフロー



地震前評価と地震後評価の連携（アーチダムを対象とした事例）

ります。そこで、大地震時の安全確認の効率化に役立てるために、精緻な三次元解析技術と緊急地震速報等を連携して活用することによって、地震時の損傷を即時的に評価し、臨時点検の効率化や情報発信の円滑化を図るための手法について研究しています。

5 地表に現れる断層変位に対する長大構造物の安全性評価法

大地震時の既設構造物の安全性を照査する場合、強震動に対する安全性のみならず、断層の大規模な相対変位に対する安全性の評価も重要であると考えられます。

1999年に発生した台湾集集地震では、石岡ダム（コンクリート重力式ダム、堤高25m、堤頂長357m）の左岸が約9.8m隆起し、右岸が約2.2m隆起しました。その結果、ダム堤体で約7.6mの鉛直方向の相対変位が発生し、ダムが決壊しました。地表に出現する

断層変位に対する安全性評価は、既設の道路、鉄道、トンネル、ダム等の長大構造物に関して重要な技術課題であり、三次元解析技術を活用した評価手法の研究を行っています。



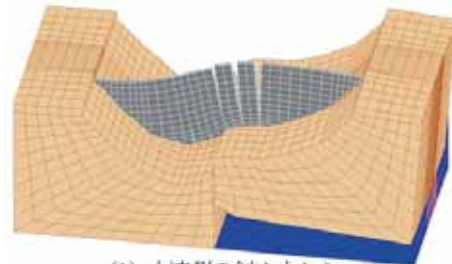
上流側



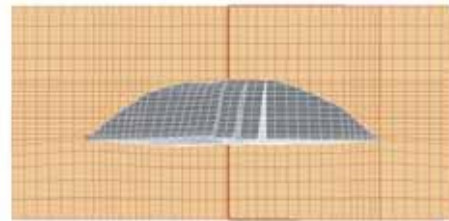
下流側

修復され運用されている台湾石岡ダム

大破した洪水吐2門の部所は被災当時のまま保存され、その他の部所は修復され、現在は、以前と同様に運用されています。



(1) 上流側の斜め上から



(2) 真上から

地表の断層変位に対するコンクリートダムの非連続的変位挙動の解析例

【地球環境学科での理工融合による地震学・地震工学への取り組みの紹介】

地震の発生そのものは自然現象ですが、それによって引き起こされる災害は人間社会と深く関わってきます。弘前大学理工学部地球環境学科の地震学・地震工学研究領域では、地震災害のこうした特徴を踏まえて、理学と工学の両面から、地震と防災に関する教育・研究を行っています。たとえば、地震の発生は地球内部の構造と運動に関わる現象としてとらえ、地球物理学や地震学の立場からの教育・研究を行っています。一方、地震によって引き起こされる地盤災害や建築物などの被害については、耐震性能の評価や地震対策技術などの地震工学の立場から教育・研究を行っています。また、地震学・地震工学研究領域と密接なつながりをもつ、理工学研究科附属の地震火山観測所では、青森県内を中心に定期的な地震観測を行ない、東北地方北部および北海道南部の地震活動の調査・研究を行っています。

このような地震と防災に関する理工融合による教育・研究の取り組みは、一つの学科内で行うものとしては、全国の大学の中でも大変ユニークで有意義なものです。

〈地震学・地震工学研究領域のメンバー〉

- 教授：佐藤魂夫（地震学）、有賀義明（地震防災工学）
- 准教授：小菅正裕（地震学）、津村浩三（建築耐震工学）、片岡俊一（地震工学）
- 助教：上原子晶久（コンクリート工学、社会基盤メンテナンス）
- 助手：渡辺和俊（地震学）

IV 新任教員自己紹介

教育学部



国語教育講座
講師
石山 裕 慈

教育学部国語教育講座に着任しました、石山裕慈(いしやまゆうじ)と申します。専門は国語学で、特に日本漢字音史(つまり「音読み」の歴史)に関心を抱いています。大昔の日本人が中国語をどう書き写し、またそれがど

ういう風にな変わっていったのか、といったことを研究しています。かなりマイナーな分野を専門にしていますが、日本語の面白さ・奥深さを伝えていけたら、と思っています。どうぞよろしくお願ひします。

教育学部



理科教育講座
講師
岩井 草 介

4月に教育学部理科教育講座の生物学研究室に赴任した岩井草介(いわいそうすけ)です。専門は細胞生物学および生物物理学です。これまで主に細胞性粘菌を材料として、細胞骨格、分子モーターの研究や、(下村さんで

なじみの) GFP を用いたバイオセンサーの開発などを行ってきました。今後は、顕微鏡を使って、今まで誰も見たことのない生体内現象を何とかして見られないかと考えています。今後ともよろしくお願ひします。

教育学部



音楽教育講座
講師
石出 和 也

音楽教育担当の石出と申します。学校教育では〈多様〉な音楽を扱います。何が〈多様〉にさせているのでしょうか?音楽教育を行う時、音楽教育について思考する時、われわれは多くの言葉を用います。言葉はとて有効で

すが時には音楽を妨害してしまします。ですので、哲学、美学、社会学、歴史学などの知見に学びつつ、児童生徒が〈音そのもの〉に対峙するための授業モデルの構想に取り組んでいます。よろしくお願ひいたします。

医学研究科



神経解剖・細胞組織学講座
教授
一 戸 紀 孝

この度、弘前大学大学院医学研究科神経解剖・細胞組織学講座を担当することになりました一戸紀孝です。脳の精緻な回路から、いかにして高度な認知、知性や感情、そして「こころ」が生まれてくるのか?また、その回路の

どのような特徴が、どのような変調をきたしやすく、病気へとつながっていくのか?そして、それを癒す方法、救う方法は?などに興味があります。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

保健学研究科



健康支援科学領域
講師
大 津 美 香

県立広島大学、青森県立保健大学を経て本学へ着任となりました。昨年度までは青森市の住民でしたので、週末のみ弘前の実家に戻れることを楽しみにしていましたが、今年度からは日本一美しい弘前公園の桜を眺めながら実家から通勤できること

に幸せを感じています。これからも青森県の自然の四季折々の変化を楽しみながら、感性を磨き、豊かな視点を持って教育、研究等に励んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

保健学研究科



健康支援科学領域
講師
佐藤真由美

保健学科看護学専攻の基礎看護学領域で、2年次の看護技術学・同演習や看護過程論を担当します。残雪で白く秀麗な岩木山を弘前側から久しぶりに仰ぎ見て、やはりいつか登ってみたいと思ひ始め、ひそかに体力づくりをはじめました。授業での

学生の皆さんとのやりとりはまだ1カ月程度ですが、すでに多くの刺激を受けています。皆さんとの交流を通して自分もしなやかに成長していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

理工学研究科



研究部
准教授
別 宮 耕 一

人と人との出会いというものはとても不思議なものだと思ひます。それは、あのときこの人と出会わなかったらこの方向には進んでいなかったらということが、要所要所に配置されているような気がするからです。この4月より理工学研究科において

数学の担当教員として仕事をすることを与えて頂きました。ここ弘前大学でも、さまざまな専門の先生方や学生との出会いから影響を受け仕事の幅を広げられる事と楽しみにしております。

平成20年度弘前大学学生表彰を授与



遠藤学長（前列右から8人目）と受賞者ら

弘前大学では、研究活動や課外活動で活躍した学生及び学生団体を表彰する学生表彰授与式を、2月23日（月）同大学事務局大会議室で行った。

今回の受賞者は、課外活動で活躍した4団体、研究活動や課外活動で活躍した学生33名の合計37組で、表彰式には各研究科長・各学部長、指導教員

及びサークル顧問の教員も出席し、遠藤学長から学生1人ひとりに表彰状と記念品が贈呈された。

遠藤学長から、「年々受賞者が増えているのは、学生の皆さんが活発に活動しているからで、大学の活性化に大いに貢献している」と学生の功績を讃えた。

受賞者を代表して、平成20年度東北学生女子柔道優勝大会3人制で準優勝した柔道部代表・教育学部3年の竹ノ子千春さんが「今後も、大学生としての本分を全うし、弘前大学の学生であるという誇りと自覚を持って、それぞれの活動に励んでいきたい」と謝辞を述べた。

平成20年度弘前大学学生表彰一覧

【団体】

団体名	受賞理由
柔道部	平成20年度東北学生柔道優勝大会女子団体戦において準優勝
医学部保健学科学生委員会	「学生委員会」としての組織を強化し、「オープンキャンパス班」「総合文化祭企画運営班」「FDフォーラム企画運営班」の3班でそれぞれの事業活動を計画的・精力的に実施した。
弘前大学スティールパン部	リスペクトレコードをリリースし、特に沖縄で好評を博す。種々のイベントに参加し、メディアなどでも数多く取り上げられた。
弘前大学津軽三味線サークル	浜松市楽器博物館レクチャーコンサート、弘前市リンゴ公園での定例演奏などさまざまなイベントに参加した。

【個人】

学部・学年 氏名	推薦者	受賞理由
澤田 恵理	教育学研究科	2008年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞を受賞
掛樋 浩司	理工学研究科	日本化学会第88春季年会(2008) 優秀講演賞(産業)を受賞
麦沢 正輝	理工学研究科	研究成果を自ら執筆し査読付論文をインパクトファクターの高い雑誌「Langmuir」に2編投稿し、平成19年8月に米国のボストンで開催された学会において自ら英語で口頭発表を行う
高橋 慶吾	理工学研究科	第56回高分子年次大会において依頼講演を行う。2008年度色材協会研究発表会において優秀ポスターを受賞
田嶋 司	理工学研究科	2008年度色材協会研究発表会優秀ポスター賞を受賞 2008年高分子学会東北支部研究会発表において若手優秀発表賞を受賞
後藤 勇貴	理工学研究科	2008年度材料技術研究協会討論会ゴールドポスター賞を受賞
小川 俊	農学生命科学研究科	日本応用糖質科学会、日本農芸化学会東北支部大会での発表。研究成果を国際誌「Protein Expression and Purification」に投稿
阿部美穂子	農学生命科学研究科	第7回新規素材探索研究会(2008.6.6, 新横浜)にて発表を行い、新規素材探索研究会奨励賞を受賞
村松大輔	農学生命科学研究科	研究成果を原著論文として発生物学学一流国際誌「Mech.Dev」に投稿
宮永 幸則	農学生命科学部	全国規模のコンクール等にて入賞し、平成20年度JASSO(日本学生支援機構)優秀学生顕彰・奨励賞を受賞
千島 洋明	人文学部	国家試験の中でも難関とされる公認会計士試験に在学中合格
越田 潤平	人文学部	国家試験の中でも難関とされる公認会計士試験に在学中合格
飯田佐和子	農学生命科学部	大学生協で行っている「読者マラソンコンクール」で弘前大学生としては初めてのナイスランナー賞を受賞
寺田奈津美	人文学部	第37回東北学生陸上競技選手権大会 女子400m ハードル 優勝 女子4×400m 3位
高柳 美久	教育学部	第30回北日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子4×400m 優勝 第37回東北学生陸上競技選手権大会 女子 走幅跳 優勝
遠沢 和加	教育学部	第61回東北学生陸上競技対抗選手権大会 女子やり投げ 2位 第37回東北学生陸上競技選手権大会 女子やり投げ 2位 第59回東北地区大学総合体育大会 陸上競技女子やり投げ 2位
志田 瑞季	教育学部	第30回北日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子4×400m 優勝
亀田 亜美	教育学部	第30回北日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子4×400m 優勝
木村美和子	教育学部	第30回北日本学生陸上競技対抗選手権大会 女子4×400m 優勝
多和田有紀	医学部	アップルマラソン フルマラソン女子の部優勝
佐藤 康典	教育学部	第1回北部地区国公立大学選手権水泳競技大会 男子100m,200m バタフライ優勝
佐藤 直也	人文学部	第41回東日本学生居合道大会 準優勝 第23回加藤恒夫杯争奪居合道大会 第3位
入川 望美	人文学部	第3回全国各流居合道さくらんぼ大会 女子初段の部 優勝
四茂野恵奈	医学部	第38回北日本医科系学生バドミントン選手権大会 女子 シングルス, 女子ダブルス3位 第51回東日本医科系学生総合体育大会バドミントン競技 女子団体3位
石野 瞳子	医学部	第38回北日本医科系学生バドミントン選手権大会 女子 ダブルス3位 第51回東日本医科系学生総合体育大会バドミントン競技 女子団体, 女子シングルス3位
内田 康幸	医学部	第51回東日本医科系学生総合体育大会空手道競技 男子総合, 団体形, 組手優勝, 個人組手準優勝
小林 麻美	医学部	第51回東日本医科系学生総合体育大会空手道競技 女子個人形3位
小渡 亮介	医学部	第51回東日本医科系学生総合体育大会空手道競技 男子組手, 形優勝
工藤 啓晃	教育学部	平成20年度東北地区大学体育大会 空手道の部 男子団体2位
菊池 和成	農学生命科学部	北東北大学野球連盟秋季2部リーグ戦 外野部門ベストナイン
福田めぐみ	(昨年度)教育学部	全日本学生馬場馬術大会 準優勝
戸田 智子	教育学部	第18回日本クラシック音楽コンクール木管楽器部門 全国大会で1位なしの2位に入賞
黒滝 春香	人文学部	第25回NHK全国大学放送コンテスト アナウンス部門 2位

弘前大学創立60周年記念 学生参加事業

本学は、今年創立60周年を迎えることとなり、学生参加の記念事業が各種計画されています。今後、それぞれの事業について実施要領等が公表されます。自分の興味のある事業に是非、参加してください。

- **アメフト部「アップルボウル」**
5月24日(日) 弘前大学 多目的広場 対北里大学戦
- **学生記念植樹** 6月6日(土)10時 弘前大学 外国人教師館横
- **記念式典** 6月6日(土)14時 弘前文化センター ホール
- **弘前大学フィルハーモニー管弦楽団**
楽団創立40周年記念演奏会 6月21日(日)16時 弘前市民会館
- **劇研マップレス新人公演**
6月27日(土)19時、28日(日)14時 スペース・デネガ
- **言語力大賞コンテスト**
6月公募開始 (9月下旬締切、10月27日発表)
- **北八甲田山登山** 7月4日(土)~5日(日) 実施予定
- **邦楽愛好会 七夕演奏会**
7月11日(土)14時 50周年記念会館みちのくホール
- **記念登山 岩木山日帰り山行**
9月26日、10月3日、10日いずれかの土曜日に実施
- **北海道・東北学生競技ダンス**
対抗戦 & 60周年記念大会 10月4日(日) 弘前大学 第1体育館
- **総合文化祭** 10月23日(金)~25日(日) 弘前大学
- **学生シンポジウム**
11月13日(金) 50周年記念会館みちのくホール
- **書道クラブ 大学書道展**
11月20日(金)~22日(日) 百石町記念館
- **スライドミュージックコンサート**
11月30日又は12月1日 50周年記念会館みちのくホール
- **美術部 関根展** 11月又は12月 50周年記念会館 会議室
- **劇団ブランクスター 冬公演**
12月頃 50周年記念会館みちのくホール

問い合わせ先

弘前大学学務部 学生課 学生支援グループ
内線 3112、3113

※ 学生参加事業の追加申請を受け付けています。

弘前大学創立60周年記念学生参加事業 アメフト部 「アップルボウル」



前半北里大の攻撃の様子



先制点に繋がったパス

弘前大学創立60周年記念学生参加事業の一環であるアメリカンフットボール交流試合(弘前大学アメリカンフットボール部「STAR KING」対北里大学獣医学部アメリカンフットボール部「COWBOYS」)が平成21年5月24日午前11時から開催されました。

当日は、天候も恵まれ、北里大のキックオフで始まった試合は、前半、弘前大が先制し、その後も2本のタッチダウンを奪うなど一時22-0とリードを広げた。しかし、前半終了間際にタッチダウンパスを決められ、前半は22-6で終了した。後半は、両大学とも好守備やミスプレーが多く攻めきれぬまま攻守交代が続き、得点が取れぬまま試合が終了し、22-6で弘前大の勝利となった。

試合後、羽賀主将は、

「勝利はしたが決して満足のいく試合内容ではなかった。この試合でいろいろな課題が見えたので秋シーズンに向けて取り組んでいきたい。」と東北制覇に向け決意を新たにした。



VI 編集後記

新入生の皆さん、ようこそ弘前大学へ。入学から早3ヶ月となりますが、慣れましたでしょうか？既に始まっているこの弘前大学での学生生活には、チャンスが数多く転がっています。是非多くのことにチャレンジしてください。また、これまでにない多くの出会いもあることと思います。たくさんの仲間を作り、たくさんの先生とコミュ

ニケーションをもつことによって、将来につながる大切なものが見つかることを切に願っております。

本学のある弘前をご存知の通り、古都城下町の名残が色濃く残っております。一方で、歴史と共に地酒文化も発展してきた地域でもあり多くの酒蔵が街に点在する中、良質なものを求めて酒蔵激戦区ともいえます。本学も地酒

ブランド「弘前大学」という銘柄で販売しています。これから成人を迎える方も多いかと思いますが、成人を迎えた方から津軽地域の地酒を少しだけ試してみると、新しい発見につながるかもしれません。弘前で何か一つ以上、発見してみてください！

弘前大学生生活協同組合 第48回通常総代会終了のご報告

5月22日(金)に第48回通常総代会が開催され、総代選出数143名のうち、125名(委任出席74名を含む)の出席で活発な討論がおこなわれ、採択の結果、すべての議案が可決成立いたしましたことを報告いたします。

- 第一号議案 2008年度活動報告、決算報告、監査報告及び
び剰余金処分案承認の件
- 第二号議案 新ビジョンとアクションプラン決定の件
- 第三号議案 2009年度活動計画及び事業予算決定の件
- 第四号議案 役員報酬限度及び役員退職金支給決定の件
- 第五号議案 監事監査規則一部変更の件
- 第六号議案 役員改選の件
- 第七号議案 議案決議効力発生の件



また、ホームページに以下の関連報告も掲載していますのでぜひご覧下さい。

※ <http://www.hirosaki.u-coop.or.jp/>

1. 第48回通常総代会議事録(当日の議事報告)
2. 第1回理事会議事録、第1回監事会議事録、役員一覧(2009年度役員体制報告)
3. 総代会アンケート集計結果(学生組合員の声の報告)
4. 学部懇談会報告(教職員、院生の声の報告)

店舗移転の お知らせ

アパートや住まい紹介事業を担当している **Sumica(スミカ)店**が、5月より弓道場向いの組合員センター1階に移転いたしました。富野町方面にお住まいの方には、少し遠くなりますが、今後ともご利用をよろしくお願い申し上げます。

● Sumica 店 店長：渋谷文雄
住所 弘前市文京町4-50
tel 0172-31-7237

「お気軽にお立ち寄りください…」



帰省・就活の切符は たびSHOPで!



シエリア店奥のたびSHOPでは、夏休みの帰省や就活のためのJR、高速バス、フェリーなどの予約を受け付けています。

札幌方面 JR 急行「はまなす」利用で
片道 8,180円(学割、指定席券のご利用)

東京(高速バス利用で)往復 10,000円～
仙台(高速バス利用で)往復 8,000円

上記のほか、全国各地への交通や宿泊の予約・手配のお申込みを承っています。

JR 指定席の予約は、1ヶ月前からできますので、予定が決まったら、総合教育棟1階の発行機で学割証をGetしてご来店ください!



【発行機】



弘前大学 学園だより Vol.163

2009年6月発行

学園だよりに関するご意見がございましたら、
下記のアドレスまでお寄せ願います。
e-mail: jm3113@cc.hirosaki-u.ac.jp
弘前大学学務部学生課



国立大学法人 弘前大学 「学園だより」編集委員会

委員長

奥野浩子 (教育・学生委員会)

委員

福田健太郎 (人文学部)

杉原かおり (教育学部)

松谷秀哉 (医学研究科)

門前 暁 (保健学研究科)

小松尚夫 (理工学研究科)

藤田 隆 (農学生命科学部)

三浦信義 (学生課)

佐々木忠 (学生課)

印刷：ワタナベサービス株式会社